

とぎつちよう うちどく すいしん  
時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ちゅうがくねん ねん はるごう  
(中学年) 2022年 春号



発行：時津町立時津図書館

## うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」です。

難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



### 「プラスチックのうみ」

ミシェル・ロード/作  
ジュリア・プラットマン/絵  
川上 拓土/訳  
(小学館)

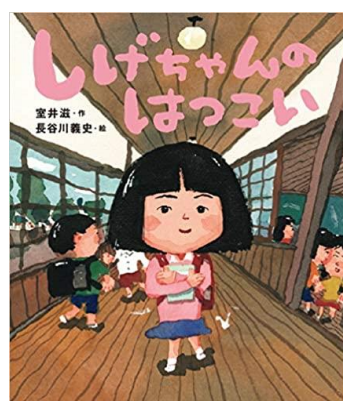
すてられたコンビニぶくろが土にかえるのに1000年。ハブラシだって500年かかるってしてた？なにげなくすてたプラスチックごみが、うみの生き物を苦しめている。今、わたしたちにできることはなにか？



### 「マチルダとふたりのパパ」

メル・エリオット/作 三辺 律子/訳  
(岩崎書店)

私はパール！小学生の女の子よ。転校生のマチルダという子と仲良くなったの！マチルダの家は、お母さんはいなくてお父さんが二人いるんだって。じゃあきつと、ごはんはケーキやアイスクリームにちがいないわ！



### 「しげちゃんのはつこい」

室井 滋/作 長谷川 義史/絵  
(金の星社)

大阪弁を話す転校生の男の子。ひょうきんでたちまちクラスの人気者に。ところがある日とつぜん学校に来なくなった。しげちゃんは先生に頼まれて、給食のパンをとどけに行くことに。しげちゃんは急にドキドキしてきた。なんだろう？わたし、どうしちゃったのかな？



### 「サイコーの通知表」

工藤 純子/著  
(講談社)

通知表に不満があるぼくら。「通知表でぼくらの何がわかるの！じゃあぼくらで先生の通知表をつけよう」と、クラス全員で担任のハシケン先生の通知表をつけはじめることに。

人に成績をつけるってけっこうむずかしい…。



### 「四人のヤッコ」

西内 ミナミ/作 はた こうしろう/絵  
(鈴木出版)

ヤッコはひとりっ子。わがままになっちゃいけないと、ママはヤッコにきびしい。「あーあ、わたしにそっくりな子が何人もいれば、ピアノの練習もにがてな一輪車もかわってもらえるのに」と思っていたら、あらあら、ほんとうに四つ子になっちゃった！ところが願いがかなったはずのヤッコは…。



### 「本気でやれば、なんでもできる!？」

ジョン・ヨーマン/作  
クエンティン・ブレイク/絵  
三原 泉/訳 (徳間書店)

ビリーは何時間もかけてかごをあんでるのにちっともうまくいかない。へんてこになったかごを見て先生は言った。「ビリー、できないなんておもっちゃいけない！なんでも本気でやればできないことはないの」と。え？ぼくにもできるの？